

2026年度 言語学研究室時間割 (2026-04-01)

	月	火	水	木	金
1 8:30- 10:15	<u>ヒンディー語</u> (1)(2) 外 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [319] 足立享祐			<u>比較言語学</u> (1)(2*) (1) S1+S2 (2) A1+A2 [212] 小林	
2 10:25- 12:10		台湾海陸客家語概説： 南方漢語の視点から 特 A1+A2 [314] 遠藤雅裕	<u>音響音声学</u> (1)(2) (1) S1+S2 (2) A1+A2 [工学部] 峯松信明	ドラヴィダ語記述研究： テルグ語 演 S1+S2 [212] 小林	<u>ペルシア語</u> (1)(2) 外 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [314] [112] 渡田良子
			<u>日本手話</u> (1)(2) 外・特認 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [315] 小林信恵		<u>音声学</u> (1) S1+S2 [312] 植田尚樹
			<u>言語学概論</u> (1*)(2*) A1+A2 [2 大] 小林・長屋・平沢・松田	<u>言語学概論</u> (1*)(2*) A1+A2 [2 大] 小林・長屋・平沢・松田	<u>文法変化の研究</u> 特 A1+A2 [314] 小柳智一
3 13:00- 14:45	<u>言語類型論研究</u> 特 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [214] 長屋	<u>認知言語学入門</u> ： <u>認知文法の基礎概念</u> (1)(2*) 特 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [2 大] 平沢	<u>野外調査法</u> (1)(2) 演 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [演習室] 長屋		<u>言語研究のための 情報処理</u> 特 S1+S2 [112] 小林
					<u>統語変化</u> 特 A1+A2 [112] 小林
4 14:55- 16:40		<u>チベット=ビルマ 記述言語学研究</u> 特 S1+S2 [215] 澤田英夫	<u>言語学演習</u> (1)(2) (1) S1+S2 (2) A1+A2 [演習室] 小林・長屋・平沢・伊藤	<u>音声学</u> (2*) A1+A2 [215] 植田尚樹	<u>印欧語比較研究</u> ： <u>イラン語</u> 演 A1+A2 [演習室] 小林
5 16:50- 18:35	<u>実験言語学</u> 特 A1+A2 [212] 李勝勳	<u>認知文法</u> の目で読み直す (認知) <u>言語学</u> の名著 (1)(2) 演 (1) S1+S2 (2) A1+A2 [315] 平沢		<u>意味分析の実践</u> 特 S1+S2 [2 大] 松田	

集中講義
<u>オセアニア言語研究</u> 特 A [314] 千田俊太郎

原則対面で開講 (大学院言語学演習はオンライン)

無印 = 学部・院共通 / 下線 = 学部授業 / 網掛け = 大学院授業 / 特 = 特殊講義 / 演 = 演習 / 外 = 外国語 / 特認 = 特殊講義として認定される / * = 持ち出し専門科目

【重要】言語学概論 (1)(2) は一方のみを受講することはできません。また、水2・木2を両方受講してはじめて2単位になります。音声学 (1)(2) は同じ内容であり、重複履修しても単位にはなりません。